



品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
 平成15年 8月29日

財団法人 建築試験センター
 中央試験所長 勝野 幸
 埼玉県草加市稲荷 20号



試験名称	たて枠を介して接合された木造建築用接合金物の引張試験
依頼者	会社名：株式会社 タナカ住宅資材事業部 所在地：茨城県新治郡新治村大畑702番1号
試験体 (依頼者 提出資料)	<p>1. 接合金物 名称：木造建築用柱脚仕口金物 商品名：ビス止めホールダウンU25kN用 用途：柱脚の仕口に使用する金物（アンカー型） 寸法：幅40mm，長さ245mm，厚さ6mmの鋼板添え板にU形に折り曲げた厚さ4.5mmの鋼板を溶接したもの（図-3参照） 材質：SPHC（JIS G 3131） 表面処理：ダクロタイズド処理</p> <p>2. 接合具 木ねじ：TB-100，10-φ5.5×100mm（ねじ部の長さ75mm） 谷の径；3.5mm，ねじ山のピッチ；3.2mm，ねじ先の形状；とがり先 材質；SWCH 22K（JIS G 3539） 表面処理；Ep-Fe/Zn 5/CM2 C（JIS H 8610及びJIS H 8625） アンカーボルト：M16六角ボルト，材質；SS400（JIS G 3101） 表面処理；Ep-Fe/Zn 5/CM2 C 丸ワッシャー：外径32mm，内径17mm，厚さ2.8mm，材質；SPHC 表面処理；Ep-Fe/Zn 5/CM2 C</p> <p>3. 使用軸組 柱：樹種；すぎ，寸法；105×105mm，含水率；9.8～13.4%，密度；0.40～0.45g/cm³ たて枠：樹種；すぎ，寸法；30×105mm，含水率；9.2～22.3%，密度；0.40～0.45g/cm³ （注）接合金物の設置位置におけるたて枠の止め付けは下記による。 N75くぎを150mm間隔（ちどり）で平打ち</p> <p>4. 試験体数 7体（うち1体は予備試験体） 参照：図-1～図-4（試験体の形状・寸法）</p>
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計（監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室，企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター）の2章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」の2.「平成12年告示第1460号に基づく仕口及び継手の試験法，評価法」に従って行った。その詳細を表-1に示す。
試験結果	<p>耐力算定基礎資料：表-2</p> <p>短期基準接合引張耐力(P_{ot})：25.2kN 荷重-変位曲線：図-5及び図-6</p> <p>破壊状況：写真-1～写真-6</p>
試験期間	平成15年 8月11日 ～ 12日
担当者	構造グループ 試験監督者 橋本敏男 試験責任者 高橋大祐 試験実施者 室星啓和
試験場所	中央試験所